

# 小城市が目指す協働の姿

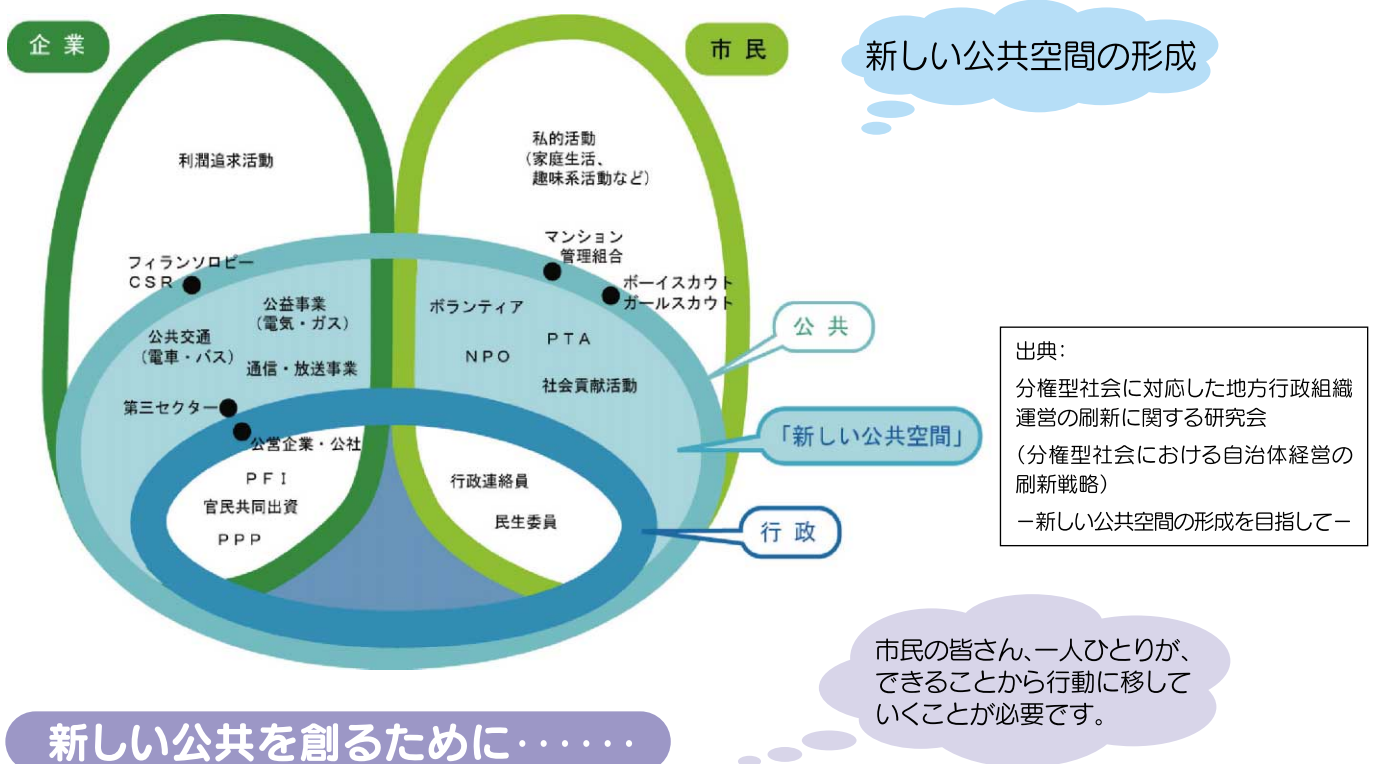
市民一人ひとりが何か地域のことに関わっている。

→市民一人ひとりが必要とされているまち。

市には、公平性、平等性のほかに財政的制約も課され、市民一人ひとりの課題全てに対応することが困難です。それに対し、CSOなどの活動は、個人や地域の諸課題に対し柔軟に、臨機応変に対応することが可能です。

そういう身軽に動ける力が小城市内のあちこちにあれば小城市が地域力をつけていく、というイメージです。それが新しい公共空間です。

市民であるあなたが、市民活動団体に参加してサービスを提供する側になれるのです。  
(市民の少しずつの取組みで地域やまちは変わっていきます。)



市民、市民活動団体が地域の諸課題について、できることから行動に移し、行政と共に責任と役割分担を相互に自覚し、対等の関係で共通の目的を達成するために自由な発想のもと活動する＝協働での取組みが必要となってきます。

あなたにあう協働のスタイルで取組みを始めてみましょう。

最終的に目指す姿として……

**住民自治の確立**

地域の運営は、その地域の住民の意思によって行われるべきという概念です。